

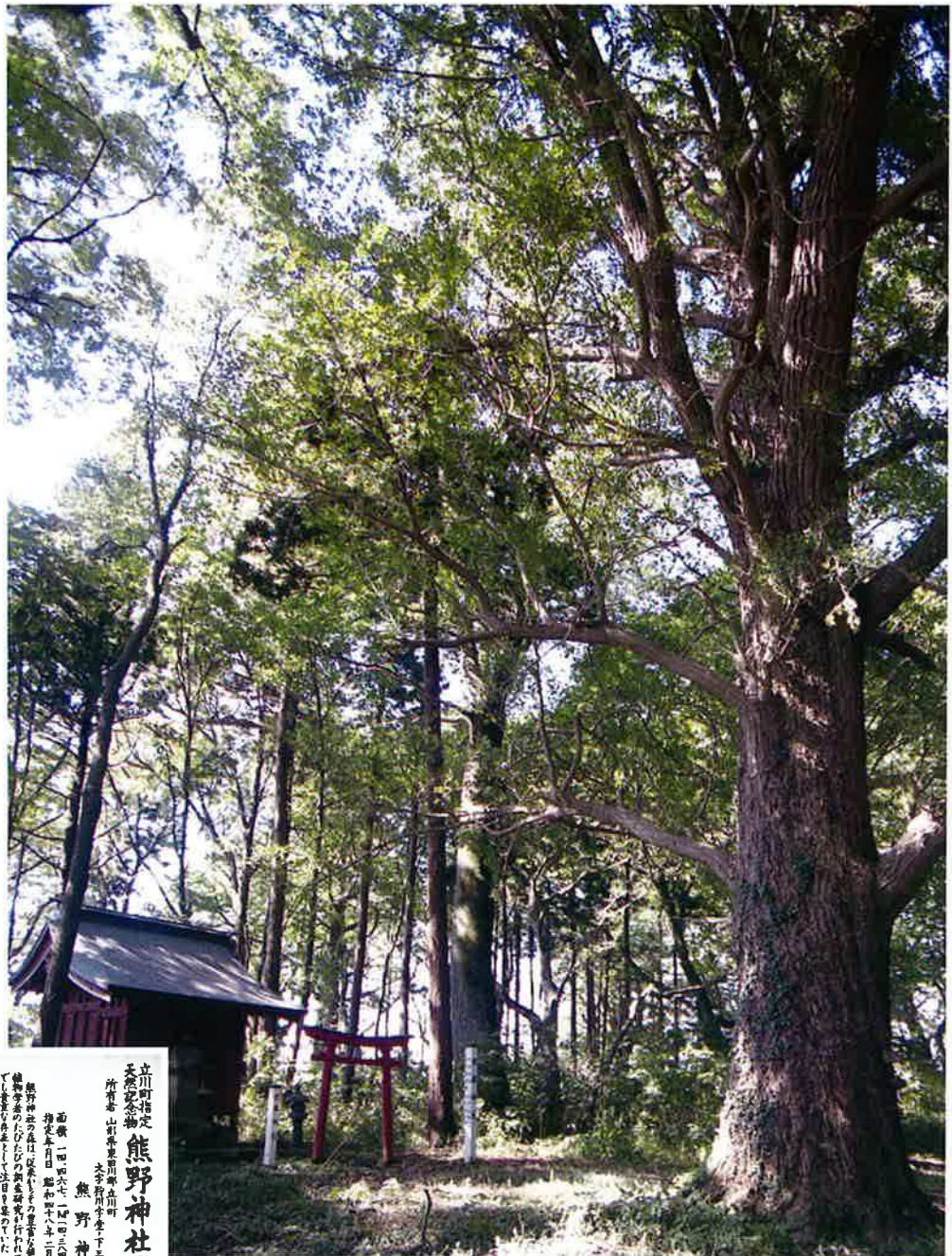
## 山形県の古木・名木 No.71

# 熊野神社の森 (くまのじんじやのもり)

東田川郡庄内町大字狩川字堂ノ下

昭和48年2月7日に町指定天然記念物に指定された熊野神社の森は、従来から豊富な植物相で、植物学者のたびたびの調査研究が行われてきた。昭和54年の調査によると、人間の手が入る前の庄内平野部の自然の姿を残している唯一の場所と考えられ、木本植物の種類が多く、巨木が多い貴重な場所である。また、庄内平野のブナ自生を証拠づけ、ナンジャモンジャと呼ばれるエノキは、県指定のものに匹敵し、ケヤキ・アカマツの巨木もあり、ケンポナシ・トネリコの個体数も多く生育良好である。〔山形県森林協会〕

(案内略図)



立川町指定天然記念物 熊野神社の森  
所在地 山形県東田川郡立川町 大字狩川字堂ノ下  
面積 一四〇六七、一四〇三〇平方  
指定年月日 昭和四八年二月七日  
熊野神社  
熊野神社の森は、従来からその豊富な植物相で、植物学者のたびたびの調査研究が行われてきた。昭和五十四年の調査によると、人間の手が入る前の庄内平野部の自然の姿を残している唯一の場所と考えられ、木本植物の種類が多く、巨木が多い貴重な場所である。また、庄内平野のブナ自生を証拠づけ、ナンジャモンジャと呼ばれるエノキは、県指定のものに匹敵し、ケヤキ・アカマツの巨木もあり、ケンポナシ・トネリコの個体数も多く生育良好である。  
昭和五十二年三月  
立川町教育委員会

【森林やまがた96号(2005年3月)記載】